



炬火を掲げていざ謳う

No.26



我々の泉鳥取

2022年 11月28日 (月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

創立二十周年記念行事

— 次世代への息吹 —



創立20周年記念式典は、平成7(1995)年10月21日(土)貝塚市民文化会館(コスモシアター)において開催されました。

10周年記念式典に比べて、生徒数も卒業生数も旧職員数も増えており、体育館での式典では入りきらないことが予想されました。泉の森ホールや波切ホールがまだなかったため、当時泉南地域で最も大きいホールであった貝塚市民文化会館(コスモシアター)を借りて式典を行いました。残念ながらカラーの写真が残っておらず、PTA通信「つばさ」より転写した白黒の写真となっています。

20周年記念事業では、情報処理室に新たに導入されたLANで、新カリキュラムの設計で設置された就職希望2年生の選択授業「文書処理」を展

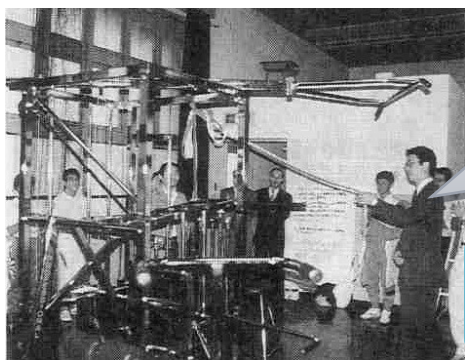


パソコンはMS-DOS本体に乗っているのが記念品の簡易プリンタ(二期生卒業アルバム)

開するために、ワープロソフトと簡易プリンタを40台分寄付いただきました。さらに運動クラブの基礎体力向上のため、泉鳥取高校では初めてトレーニングマシンを体育館に設置しました。また、PTAのOB会である泉祥会からは、体育館外壁のソーラー時計の寄付を受けました。式典後のアトラクションは、河島英五さんを招いてコンサートを実施、1年生の澤村直之さんが飛び入りで河島さんのギターを借りて演奏、大いに盛り上がりました。

決算書によると、20周年記念式典では生徒979人、教職員74人の他、旧職員やPTA関連の出席者を含めて合計1,187人が式典に参加、祝賀会への出席者は185人、事業の総額は1700万円に及び、泉鳥取高等学校で行われた行事で、参加者数においても予算においても、泉鳥取高校史上最大の行事であったということが出来ます。

席者は185人、事業の総額は1700万円に及び、泉鳥取高等学校で行われた行事で、参加者数においても予算においても、泉鳥取高校史上最大の行事であったということが出来ます。



トレーニングマシンを見る故井上前会長

式次第

- 一、開式の辞
 - 一、校歌斉唱
 - 一、学校長式辞
 - 一、PTA会長挨拶
 - 一、来賓祝辞
 - 一、来賓紹介
 - 一、祝電披露
 - 一、よろこびの言葉
 - 一、記念品贈呈
 - 一、閉式の辞
- 式次第
- 生徒代表